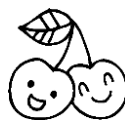


「不思議・発見・もう一回！！を引き出す玩具」



保育教諭 栗村 美穂

今回、「不思議・発見・もう一回！！を引き出す玩具」というテーマを頂きました。そこで私は、お店に並んでいる玩具、小さい頃に遊んでいた玩具、今の子どもたちが遊んでいる玩具、手づくりおもちゃなど沢山のことを想像してみました。その中で、小さい頃に遊んでいた玩具と、今の子どもたちが遊んでいる玩具について考えてみました。

小さい頃は、とにかく遊ぶのが大好きで毎日のように外に遊びに出掛けて鬼ごっこや刑ドロ、総合遊具で遊んでいました。部屋の中ではあまり記憶がないのですが、お迎えが遅いことから居残りが多く、一緒に居残りをしている友だちと大きな積み木を自分達で重ねて汽車に見立てて乗ったり、お家の壁に見立てて家族ごっこをしたりしていました。居残りをしている時は必ずその積み木で遊んでいたの、私にとってとても楽しいおもちゃになっていたように思います。大きな積み木を重ねて並べて色々な形にできる不思議さと発見、何度も行うのが「もう一回！！」の気持ちに繋がっている玩具だったのだと感じました。

次に、今の1歳児（ひよこ1組）がよく遊んでいる井型ブロックやレゴブロックを見直してみました。すると、その玩具にも「不思議・発見・もう一回！！」が入っていました。『不思議』は、保育教諭や友だちが作った物を見て「どうしてこの形ができるのだろう」「組み合わせるとつながっていく」などだと思います。『発見』は、「この形を合わせると思い通りの形になる」「～みたいに見える」などで、作っている内に見つけることができます。そして最後は、「もう一回！！」と何度も同じものを作ったり保育教諭に作って欲しいと要求したりします。

全ての玩具の中に「不思議・発見・もう一回！！」と思えるものが入っていると感じました。このテーマを頂いて、改めて子どもの気持ちを考えることができました。まだまだ触れたことのない玩具が今の子どもたちはたくさんあります。保育教諭として玩具を通して一緒に遊んだり促したりしながら、感情豊かに育ち好きな玩具をたくさん見つけてほしいと思いました。また、手作りおもちゃも少しずつ作り、玩具を増やしていきたいです。

(2019年9月)

